

# 根知地区こうみんかん

令和元年12月25日

第340号

TEL558-2002

館長 佐藤 求

〒949-0534 糸魚川市和泉355-3 メール nechiko@bz04.plala.or.jp

## 1月の地区の行事予定



- 6日(月) 仕事始め
- 8日(水) 冬季体力づくり講座①
- 17日(金) 輪投げ大会
- 18日(土) 歴史講座
- 22日(水) 冬季体力づくり講座②



## テーマ「根知の防災を考える」

### 令和元年度公民館大会が開催されました。



12月1日(日)、令和元年度の公民館大会が開催されました。今年のテーマは「根知の防災を考える」でした。午前には、根知振興協議会主催の消防本部による防災講座、午後からは、公民館主催の公民館大会という1日でした。

公民館大会では、前半は根知未来会議の事務局長・斎藤喜代志さんから活動報告をしていただきました。斎藤さんからは、根知地区の未来が少しでも繋がるように、何もしなければ根知の未来は暗い物になってしまう、今からいろいろ考えて活動していくことが大切だと話していただきました。

後半は、信州大学の理学博士の大塚勉教授による講演でした。

大塚教授には昨年も講演いただき2度目でしたが、今回は過去の地震災害などで地表に現れた断層などを文化財として残している所などから防災を学ぶというお話でした。大変、興味深く聞くことが出来ました。



募集!

## タミーさんのフラワーアレンジメント講座

### ☆コサージュづくり☆

毎回好評のフラワーアレンジメント講座です。今回はお祝い事などにつけるコサージュを作ります。

卒園卒業、入園入学、結婚式などにも重宝するコサージュを自分で手作りしてみませんか。

- ◆とき 2月22日(土) 13:30~16:00
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆参加費 2500円
- ◆申込み 2月14日(金)までに公民館へ



人口及び世帯数元年11月末現在( )内は前月

糸魚川市	男	20,635(20,651)	女	21,601(21,649)	合計	42,236(42,300)	世帯数	17,389(17,410)
根知	男	449(453)	女	466(471)	合計	915(924)	世帯数	402(403)

お知らせ

## 冬季体力づくり講座を開催します！



冬の間は農作業もなく運動不足になりがちです。ウォーキングをしている方も多いですね。そんな方たちの為に正しいウォーキングの講座を開きます。

- ◆と き 1月8日(水)・1月22日(水)(全2回) 9:00~11:00
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆内 容 正しいウォーキングを身につける  
講師 福田康之さん(スポーツ推進員)
- ◆申込み 1月6日(火)までに公民館へ

## 第1回輪投げ大会参加者募集！

冬季は家にこもりがちになります。体力づくりに参加して体を動かしたりおしゃべりしたり楽しい時間を作りましょう！

- ◆と き 1月17日(金) 9:00~11:30
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆申込み 1月14日(火)までに公民館へ

## 年末年始の休館について

12月28日(土)~1月5日(日)の期間は公民館は休業となります。  
1月6日(月)より通常業務となります。  
今年も1年間お世話になりました。新年もよろしくお祈りします。



## 歴史講座

- ◆と き 1月18日(土) 13:30~15:30
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆内 容 うどんの歴史



## 寄稿

12月の歴史講座について

講座は方言について。公民館に有る分厚い、当時10万円もした、東京大学名誉教授・柴田武氏が代表で書かれた、この地方の言葉から入り、駒ヶ岳の「かねっこおり」(つららの事)とか、戸土の言葉と根知の言葉の違い、又、糸魚川の町中の言葉とか江戸時代、江戸に集まった東北の人と関西の人は会話が出来るだろうか。そんな話で盛り上がり最後は私達の住んでいる地は西・東・南の地方に属さない所ではなかろうかとなりました。柴田さんの書かれた文中にこの地方で一番きれいな言葉それは「おみちよう」女の方は「おみちようね」を思い出し「おみちよう、柴田、徳川、グロータスさん」で報告を終わります。

※徳川・グロータス2氏と柴田氏で何年もこの地方の言葉を調べていました。今から60年近く前の話でした。

12月21日 参加者11人

文責 田野正信

根知谷

令和元年も数日となった。今冬は暖冬小雪でなかなか雪が降る気配がしない毎日となっている。この時期多少の雪が降らないと観光に影響も出るし、来年の水不足も心配される。ほどほどは降ってほしい。

師走恒例の重大ニュースが発表された。一位はやはり新天皇の誕生と令和の幕開けとなった。そして今年の漢字も「令」が選ばれた。

新しい時代の始まりだったが、多くの災害が発生し、特別警戒など人々を震撼させる言葉が報じられた年でもあった。令和二年は災害が無く人々が幸せを感じられる年であってほしいものだ。

お正月に飾る「門松」は、新年が来たことを告げる年神様の目印として飾られたとされる。松や竹、南天を用いて作られるが、それぞれが縁起を担がれているもので、長寿や子孫繁栄を願う飾られた。門松の中央にある竹は、スパンと斜めに切られた「そぎ」と節のところを真横に切った「寸胴」の二種類がある。現在は「そぎ」が圧倒的に多いという。

戦国時代に武田信玄と徳川家康が争った三方ヶ原の戦いで、家康は大敗し命からがら浜松城に逃げ帰った。悔しさがこみ上げる家康は、竹を武田に見立てて「次は必ず信玄を切るぞ」と竹をスパンと斜めにそぎ落とした。

そしてその竹を飾り戒めとしたことが始まりとなった。「しかめ像」はこの戦の後描かせて家康が一生大切に話した話有名。そして竹の「そぎ」は家康が始めた事となっている。